

平成27年度第2回海津市総合教育会議議事録

1 開催日及び時刻

平成28年1月7日（木）午後4時から午後5時15分

2 出席者の氏名

海津市長	松永清彦
海津市教育委員会教育長	中野 昇
海津市教育委員会教育長職務代理者	森 圭子
海津市教育委員会教育委員	大橋 利
海津市教育委員会教育委員	近藤昇司
海津市教育委員会教育委員	曾根みはる

3 調査、説明等のために出席した者の氏名

総務部長	服部尚美
総務部総務課長	寺村典久
総務部企画財政課長	白木法久
教育委員会事務局事務局長	伊藤精治
教育委員会事務局事務局次長	石原義雄
教育委員会事務局事務局次長	菱田一義
教育委員会事務局教育総務課長	伊藤尚幸
教育委員会事務局学校給食センター所長	加賀慎治
教育委員会事務局学校教育課長補佐	伊藤淳子
教育委員会事務局こども課長	松岡由起
教育委員会事務局社会教育課長	伊藤一人
教育委員会事務局図書館・歴史民俗資料館館長	金森健吉

書記：教育委員会事務局教育総務課 戸島澄子

4 傍聴者

なし

5 議 題

- (1) 平成28年度海津市一般会計予算（教育委員会分）について
- (2) 教育委員会施設の適正配置について
- (3) 緊急の場合に講ずべき措置について

開会 午後4時

発言者	発言内容
伊藤教育総務課長	<p>本日は、大変、お忙しいところ、平成27年度第2回海津市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>はじめに、松永市長よりごあいさつを申し上げます。</p>
松永市長	<p>平素から教育行政に力を注いでいただき感謝申し上げます。この会議の最終的な目標は、いかに子どもが健全にすくすくと育ってくれるかであり、そのために我々は何をなすべきかという会議であろうと思っています。今、子どもたちを見ていると自分の意見を言えない子どもたちが被害にあっています。自分の意見を言ったり、訴えたりできるシステムを作っていく必要があると思っています。今日は城山小学校と下多度小学校のスポ少バレーの子たちが岐阜県で優勝して全国大会に出場することによって報告に来てくれました。そういう子たちは自分の意思をはっきり表現することができるので、何かに打ち込む子たちは他のことにも大きな影響があると感じました。他に大江小学校の狂言をやっている子も一人一人が違っています。一人が休んでも他の子が台詞を覚えていることに驚き、子どもの能力はすごいと思いました。そういったことができるシステムや予算編成をしっかりとやっていくことが一番求められています。財源が豊かなら良いのですがそうもいかないのです。よろしくお願いいたします。</p>
伊藤教育総務課長	<p>議題に移らせていただきます。</p> <p>会長が市長なので市長により進めていきますのでよろしくお願いいたします。</p>
松永市長	<p>はじめに、議題の(1)平成28年度海津市一般会計予算(教育委員会分)について事務局から説明をお願いします。</p>
伊藤事務局長	<p>先ほど、教育委員会を開催して来年度予算の概要を説明し、大筋ご理解をいただいていますので、それについて思われることを、各教育委員さんより市長さんにお話いただいでよろしいか。</p>
松永市長	<p>それでは、ご意見を伺います。</p>
近藤教育委員	<p>城南中学校には多額のお金を掛けていただいて感謝していますので、この上お願いするのは心苦しいのですが、平田中学校と日新中学校の大規模改修を近い将来お願いしたいと思います。特に、各小学校と城南中にはエアコンの設置も実現したので残る平田中学校と日新中学校にも設置をお願いしたいと思います。</p>

発言者	発言内容
曾根教育委員	11月に教育委員会の評価をして学識経験者の岩田先生から海津市は統合について高い評価をいただき嬉しかったです。お願いは、市内で発達障がいや不登校の生徒が目立つようになってきていますので、教員や支援員の確保の予算をお願いしたいと思います。また、その子たちの卒業後の支援をするシステムを作っていただきたいです。
森教育委員	近藤委員さんと同様に、平田中学校や日新中学校の改修やエアコンの整備をお願いしたいと思います。来年度予算の中で海西公民館を存続していただけることに感謝します。
大橋教育委員	城南中学校の整備はありがたく思います。
近藤教育委員	追加で城南中学校の統合に伴い、駅の駐輪場の整備もしていただきましたが、防犯カメラが設置されていないので、子ども達の安全を考えて設置をお願いしたいです。
松永市長	事務局、海津の安全の話はしてありますか。
伊藤教育総務課長	そのあたりも教育委員会の際にお伝えしました。今後は、市民活動推進課と協議して順次、要望していこうと考えています。
松永市長	<p>中学校の改修は行わないわけではありませんが、予算とのかみ合いがありますので、少なくとも合併特例債があるうちに執行しなければいけないと思っています。曾根委員からの障がい者の支援の件ですが、海津市には発達支援センターがあります。ただ保育園、幼稚園、小学校との意思の伝達がうまくいかなかったようなので学校の先生に入っていたと教育長さんに相談しているところです。就職については、岐阜県の、ある校長先生と話をしたことがあります。昨年の障がい者雇用に取り組んでおられる5つの会社とコラボレーションができたことでしたので、本市でも楽山杜の会と寺倉さんのハウス、はばたき、野村さんの施設と他に、1ヶ所に協力いただいて就職先を確保していこうと進めています。長寿の里が鹿野に施設を建設中で働き先になると聞いています。学校と働き先がコラボレーションされたことは今後、大きな力になっていくと思っています。森委員さんのお話があったことに関して、海西公民館は地区社協の方が働いていただける拠点が必要だと考えています。先日、近鉄の社長さんが来られて石津駅前がきれいになったと話しておられました。養老鉄道は今後維持していくということで一致していますが形態等を協議しているところです。</p> <p>他にご意見はありませんか。</p>

発言者	発言内容
全委員	ありません。
松永市長	<p>ご意見がないようですので、議題（1）平成28年度海津市一般会計予算（教育委員会分）については終わります。</p> <p>次に、議題(2)教育委員会施設の適正配置について説明を求めます。</p>
伊藤教育総務課長	まず、市としての考え方を白木企画財政課長が説明させていただきます。
白木企画財政課長	<p>資料2-1の『海津市公共施設等総合管理計画【概要版】』をご覧ください。1月の市報にも掲載させていただきましたが、この計画は国の「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」に基づき本市が保有する公共施設の全体の状況、課題等を整理、分析し将来の需要を踏まえて長期的な視点を持って公共施設等の更新、統廃合、長寿命化など総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針を定めるものです。総務省の10月の調査では今年度中に策定、又は策定済みの自治体は31%あります。「1-1公共施設の現状」を見ますと海津市は公共施設は297施設あり、床面積は20万㎡。平均の築年数が26.7年となっており、スポーツ・レクリエーション系施設は30年を超えていて老朽化が進んでいます。「1-2建築年別の状況」は1975年から1985年に多くの施設が整備されていまして、大規模改修の目安とされる築30年以上の建物の床面積が全体の半分以上ある状況にあります。「1-3公共施設（インフラ系施設）の現状」は一般道路が1130.4km、自転車歩行者道が約6.9km、橋梁が約10km、上水道施設は26施設、管路約434.8km、下水道施設は14施設、管路約369.2kmあります。「2総人口や年代別の人口についての今後の見通し」については海津市人口ビジョンによれば2040年に29,000人ぐらいになると見込んでいます。「3公共施設等の将来の更新費用の推計」ということで今後40年間で更新、改修費用として約2,931億円が必要と推測され、年平均は約59.8億円が必要と想定されます。平成26年度から過去5年間の投資的経費の平均が30.4億円なので、それを充当可能額と想定した場合は約29.4億円不足すると予想されます。「4計画期間」としては40年を計画期間としていて5年ごとに見直しを行います。「5取組体制」としては行政改革推進本部、行政改革推進審議会の意見により取り組んでいきます。「6公共施設の管理に関する基本的な考え方」は課題として人口構成や市民ニーズの変化への対応。厳しい財政事情への対応。基本方向で施設の適正配置。既存施設の有効活用による効率的な行政経営。予防保</p>

発言者	発言内容
	<p>全の推進。民間活力の導入により取り組みます。数値目標で40年間で49%圧縮することをあげています。基本的な考え方では新規施設の整備は行いません。更新時には床面積の縮減。複数施設の集約化または複合化等を検討していきます。インフラ系施設では長寿命化を図り、利用状況に応じた廃止・縮小を検討していくとしています。「実施方針等」では施設等管理の進捗状況のフォローアップの実施方針を示しています。</p> <p>「7施設類型ごとの管理に関する基本的な方針」では建築物系施設は12累計、インフラ系施設では上水道と下水道施設でそれぞれの基本的な方針を記載しています。今までも、行政改革大綱の中で公共的施設の見直し指針により進めてきましたが、この計画は、人口減少により公共施設の利用需要の変化や、合併後の施設全体の最適化を図る必要があるということによって公共施設の全体を把握し、長期的な視点で更新、統廃合、長寿命化を計画的に行うことにより財政負担の軽減や平準化をするものです。施設の管理の際に基礎となる情報として今後、施設カルテを作成して固定資産台帳を整備し、情報の管理共有を図りながら更新費用の圧縮を図っていきたいと考えています。この計画を作るメリットとして国では策定費用の2分の1を特別交付税にて交付してくれることと、建築には地方債を使うことができましたが、壊すことにも地方債が使えることとなりましたので、南濃庁舎の取り壊しも合併特例債を充てて交付税算入できるような有利な方法がとれることから、この計画を作らせていただいています。</p>
伊藤教育総務課長	教育施設について伊藤事務局長から説明させていただきます。
伊藤事務局長	<p>資料2-2をご覧ください。公共施設等総合管理計画は大きな柱が4つで公共施設の適正配置、既存施設の有効活用による効率的な行政経営、予防保全の推進、民間活力の導入とあります。これは、教育委員会が所管する施設についてもあてはまる物がいくつもあります。その中で少子化の影響を最も大きく受けるのも教育委員会の施設でありますので、教育委員会が所管する施設の現状について説明します。2ページの図1では市全体の人口を未就学児童、小学生、中学生と分けて平成17年から平成27年までの状況を表しました。今後の見通しは下の図2で、過去11年間の結果から今後を予測すると減少傾向にあると思われます。3ページの図3では保育関連の施設の現状を示しています。市内には民間の事業所も含めて13施設ありますが、その施設の6年間の園児数を表しています。一</p>

発言者	発言内容
	<p>部増やしている園もありますがほとんどが減少傾向にありますので、この先は厳しい運営状況になると思われます。民間の保育園に入園される子は6割で、市立の園に入園される子は4割の割合となっています。保育の現場では平成22年に市立幼稚園を認定こども園に移行しましたが私立保育園も認定こども園化を検討しておられます。平成28年4月に下多度保育園、庭田保育園、石山保育園が認定こども園になり、他の保育園も検討しておられます。海津地区では平成27年4月に、既に2園が認定こども園になっています。5ページ図5では今後の保育関連の施設の需要の動向ですが幼児の数が減少するので当然、園児の数も減ると思われます。5年ぐらい先には需要が失われて700人程度の規模になると思われますので現在の13の園が運営していくのは厳しい状況になると思われます。ただ、新制度になって3歳児の幼稚園教育が新しくできたので5・4・3歳の年齢層が通園されるお子さんが9割を超える状況になって今後は2歳以下の未満児の保育の需要が若干上がると考えられます。6ページでは今後の事業展開についてですが、現在7つの民間の園があります。先ほどの総合管理計画にありましたように民間にやっていただける事業については民間にお願いした方が良いのではないかとということがありますので、幾つかの施設については今後はアウトソーシングを考えてはどうかという結論になると思います。7ページでは小中学校についてですが、現在、小学校10校と中学校が4校で、間もなく3校になります。小学校の内4校は250人から350人といった、国が教育的な観点から標準的な規模としている規模に当たりますが、他の6校は単学級で100人前後の学校になっています。中学校は統合が済んだので、当分は適正規模が確保できると思われます。8ページ図6では合併以降の各小学校の生徒数を表しています。黄色が今年で、それ以降は出生数から推計して32年度までを予測したものです。かなり落ち込む学校も見られます。9ページは中学校でも同様に減少していくことが見込まれます。10ページの図8は未就学児童の状況を小学校ごとに平成27年4月現在の状況から作成しました。これらを見ると保育、小学校、中学校ともに園児、児童、生徒数が減っていくことの根拠となっています。11ページは今ある施設の数と児童数を表しています。注目するところは、高須小学校が5年後には現在の350人規模から250人規模になってしまい31%減少します。それに続いて吉里小学校と大江小学校も23、4%減少してしまいます。12ページ</p>

発言者	発言内容
	では社会教育施設・スポーツ施設は総合管理計画にもあったように合併により引き継いだ重複する施設や、利用効率が低い施設については今後は閉鎖などを考える必要があると思っています。
伊藤教育総務課長	別添1は平成27年1月27日文部科学省が出されたものです。海津市教育委員会では議会答弁でもさせていただいたように複式学級になると見込まれる場合に検討していくとしています。この2ページにあるように学校規模の適正化に関する基本的な考え方で「切磋琢磨することを通じて思考力や表現力などを育み、」とあるように現実、子どもの数が減少する中で今後、検討していく必要があるのではないかとということです。これを参考にさせていただいて今後、事務局長がお話ししたように小中学校の適正規模は12学級から18学級なので、小学校は2学級、中学校は3学級です。単学級が市内には6校あるので文部科学省でも検討していく必要があるとなっています。メリット、デメリットを考慮すると単学級ではデメリットが非常に多いので今後は、教育委員会で検討を進めながら総合教育会議で結論付けていきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。
松永市長	今の説明にご意見はありませんか。
近藤教育委員	お尋ねですが、白木企画財政課長が説明していただいた資料2-1の3ページの「海津市の将来人口・年齢3区分人口の推移」で2015年の0～14歳の人口は実人数ですか。2015年、2020年、2025年と0～14歳が減っていて2030年には若干、増加しているのはなぜですか。
白木企画財政課長	人口ビジョンの作成する上で、国は出生率を2.07まで上げると言っているのものでそれに基づいたものです。
近藤教育委員	15～64歳の生産者人口が減少しているのに希望的観測で0～14歳が増加するのは現実的に矛盾しているように思います。伊藤事務局長さんが出された資料2-2の「海津市における出生数の推移」は平成32年までありますが、こちらは平成30年で少し上向いています。整合性が取れていないので施設の適正配置を考える上で資料は統一されていないと迷ってしまいます。
白木企画財政課長	伊藤事務局長が出された表は実数を平成32年まで延ばしたもので、私が出した資料は2040年、平成52年に28,000人なるだろうというのは、色々な施策を実施し、国が出生率を2.07に上げるということなので、その数字を使って作ったデータなのでご理解をいただきたいと思います。

発言者	発言内容
近藤教育委員	子どもの数が増えるのなら施設はそのように確保していかないといけないですが、現実には厳しいと思っています。そこを見誤ると検討するときに迷ってしまいます。
松永市長	市では、少子高齢化対策を実施していこうとしています。具体的には多くの人に住んでいただくことを目指していますので、くらしサポートセンターを2階に配置しました。社会福祉課を中心にまずは働いてもらうために、職が無い人には無料職業案内所でお手伝いをしています。昨年4月から11月までの間に34名の方が海津市内で雇用を決められました。以前、ナイガイテキスタイルや中日本冰糖の社長さんとの話しの中で、募集をかけても市内の人は応募してこないと言われていましたが、今は海津明誠高校もインターンシップをやっていただいて、できるだけ市内に就職していただいて目標達成に向けて力を入れています。
近藤教育委員	教育施設がどうあるべきかを考える時期が近々に来ていると思います。特に小学校前の幼稚園、保育園、認定こども園のあり方を考えないといけないと感じていますので、そのためにはこういったデータが元になると思い申し上げました。
松永市長	このことは、幼保検討委員会で再度、検討させていただきます。
伊藤事務局長	再度、説明を加えさせていただきます。市の施設は築40年ぐらいの施設が多くあります。これから20年先の長寿命化を図るためには大きな改修が必要になります。10年以上先には新しくしないと使えないのでそれぞれ説明した内容は長いスパンでの考え方であって、子どもの数が少なくなることも踏まえて10年、20年先まで使う施設に投資するのか、閉鎖するのかということを考えています。
中野教育長	要するに、事務局長さんが出した資料は、出生数と現在の人口のみで何も措置を講じないでいたらこうなっていくというデータで、白木課長さんが出した表は施策を打って、その効果を見込んだ中長期的な数値ということですね。
伊藤教育総務課長	教育委員さん方には幼稚園、保育園のあり方について次回以降の教育委員会でご協議をお願いしていきたいと考えています。
松永市長	他に、ご意見はありませんか。
全委員	ありません。

発言者	発言内容
松永市長	<p>ないようですので、議題(2)教育委員会施設の適正配置については終わります。</p> <p>次に、議題(3)緊急の場合に講ずべき措置について説明を求めます。</p>
中野教育長	<p>本来なら学校教育課長が説明をさせていただく議題ですが、他の用事で欠席なので変わって説明をさせていただきます。</p> <p>資料3は教育委員会制度が変わる要因になったいじめに関することで、重大事案が発生した場合の対応についてです。学校においては昨年度中に各学校における基本的な方針は策定済みでホームページに掲載されていますが、これについては、教育委員会についてのもので、基本理念やいじめの定義等が書いてあります。特に4ページ以降の「Ⅱいじめの防止等のために海津市が実施する施策」で「2組織等の設置」として「海津市いじめ問題対策連絡協議会」を整備しながら事前防止と、万が一、発生してしまった場合のことを記してありますが、12ページ「海津市いじめ問題対策協議会規約」の中に「この協議会には常任委員会と特別委員会を置く。」常任委員会は「市内小中学校における生徒指導上の問題点について、学校及び各種青少年団体、福祉関係機関等による情報交流を行い、いじめ根絶に向けての意見交流を行う。」としています。特別委員会については「いじめに伴う重大事態が発生した時、警察や弁護士、医療機関等専門家の参加により、事実関係のために調査に関することや被害者の保護、加害者に対する指導、そして再発防止に向けて検討を行う。」このように2つの会を通して予防と事後の適切な対応を進めていきたいと考えています。2つの会の参加者は少し違っていますので、14ページに見やすい表にしてあります。15ページに概要版をまとめてあります。16、17ページに4月から9月の問題行動の状況が掲載してありますが、特に粗暴行為が小学校は35件、中学校は25件。不良行為の中学校が16件ありました。深夜徘徊や不要物、喫煙がありました。いじめは小学校は12件、中学校は4件ありましたが、これは他市町に比べると非常に少ない数値です。喫緊的な問題は今のところ感じられないのは、学校では小さな芽をつまむことを心掛けているからです。不登校も30日以上欠席も他の市町に比べると非常に少ないという状況から、これまでも行ってきた常任委員会を定期的に行い、万が一に備えて特別委員会を設置するよう策定しました。</p>
伊藤教育総務課長	<p>教育長の説明のとおり特別委員会の後に総合教育会議で検討してい</p>

発言者	発言内容
	ただくことになるのでよろしくお願いします。
近藤教育委員	海津市が、いじめ等の問題行動の件数が全国的に見ても少ないのは学校で努力していただいていることは勿論、支援員等ご配慮いただいているからだと思っています。今後ともよろしくお願いします。
大橋教育委員	この資料を見せていただいて重大事案発生の際は勿論、未然に防ぐためにやりすぎているくらい良くできていると思いますが、逆の観点に立つと学校訪問のときにいつも、先生の就業時間が長いので、早く下校することを話をさせていただいています。この基本的方針が良くできていることは良いことだと思いますが先生方の負担が増えないか、懸念します。
森教育委員	基本的には方針は良くできていると思いましたが、必ず「地域と連携して」という言葉が入ってきますが、地域としてどんなことができるかということを含体的な組織として位置付けていくことが大切なのかと感じました。
曾根教育委員	議題とは離れるかもしれませんが、親としてはスマホの普及率が高くなってきたので持たせている子には家庭でモラルを守るよう指導していきたいと考えています。
松永市長	他に発言はありませんか。ないようですので議題(3)緊急の場合に講ずべき措置についてを終わります。 議題は終了しましたが、その他ありませんか。
伊藤教育総務課長	第1回の会議のときに、森委員さんから総合教育会議の内規に「必要があると認めるときは、関係者又は学識経験を有する者から、当該協議すべき事項に関して意見を聴くことができる。」を盛り込んだほうが良いのではないかというお話をいただきましたが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に含んでいるので総務課とも協議したところ内規は触らないこととしました。 傍聴に関する内規は第1回の会議で承認していただいたが、若干修正を加えたので出し直させていただきました。
松永市長	他に、ご意見はありませんか。
全委員	ありません。
松永市長	ないようですので、これで総合教育会議を終了します。 長時間にわたってお疲れさまでした。

閉会 午後5:15